

2019年度 中央大学国文学会 主催公演

江戸に生まれ八王子に伝わった民衆芸能 薩摩派説経節を聴く

日時：10月9日(水) 15時10分～

会場：中央大学 多摩キャンパス
3551教室 (3号館5階)

講義：よこやま 光子氏 (説経節の会 研究部長)

実演：語り／十一代目 薩摩 津賀太夫

三味線／薩摩 花太夫

どなたでもご参加いただけます。入場無料、事前申込不要。
お誘い合わせの上、直接会場にお越しください。

【ご案内】江戸時代後期に初代薩摩若太夫の始めた説経祭文(説経浄瑠璃)は、五代目の頃に江戸市中から周辺部へと伝播、明治にかけて八王子にも伝わった。八王子では、写し絵(影絵)や車人形芝居の地語り^{ひだかがわりあいざくら}が説経節でなされ、旦那衆や市井の人々が自ら語るなど庶民の間で大いに親しまれた。昭和38年には八王子在の十代目薩摩若太夫が誕生、昭和61年には「説経節の会」が設立され、市民が参加して芸の継承や研究を行っている。平成5年、東京都指定無形文化財(芸能)「説経浄瑠璃」認定。
今回の公演では、江戸からの伝播に関する講義の後、継承している「日高川入相花王」を実演して、八王子に伝わる薩摩派説経節への理解を深めたい。

【刊行物】『説経節入門』(2015/説経節の会研究部)、『説経節研究 歴史資料編』(2015/方丈堂出版)、
『説経節研究 物語編』(2017/せりか書房)、『薩摩派説経節十代目薩摩若太夫集(CD)』(2019)

【次回公演】「八王子車人形と民俗芸能公演」(2019年11月10日 オリンパスホール)

終演後、演者を囲んで懇親会(会費3000円程度、学割有)を行います。

[問合せ先] 中央大学国文学会
TEL: 042(674)3789 (中央大学国文学研究室)

